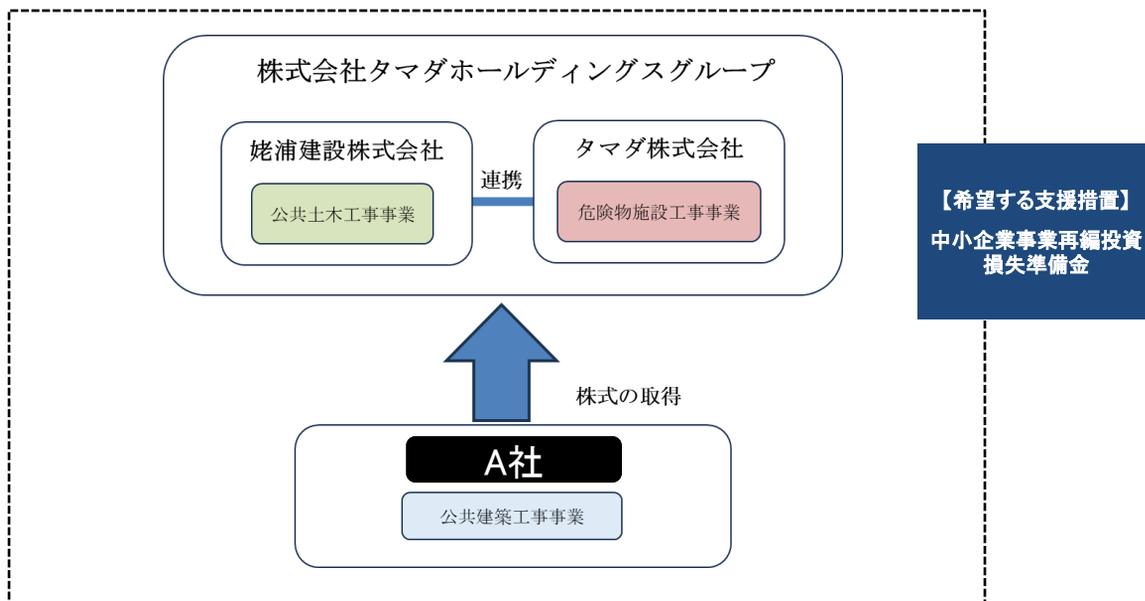


株式会社タマダホールディングスグループの 「特別事業再編計画」のポイント

株式会社タマダホールディングスグループは、A社を取得し、姥浦建設・タマダ・A社それぞれが新たな領域へ進出するとともに、それぞれの受注案件に共同で取り組み、技術・ノウハウの共有を行いながら、技術力の向上・生産性の向上を実現し、将来の成長の基盤を構築する。



【生産性の向上】

- ・従業員1人当たり付加価値額を計画終了年度(2029年度)までに21.3%以上向上させる。
- ・売上高を計画終了年度(2029年度)までに2.3倍とする。

【財務の健全性】

- ・有利子負債/キャッシュフロー ▲4.8倍
- ・経常収支比率 104.5%

【賃上げ】

- ・雇用者給与等支給額を計画終了年度までに年率9.8%向上させる。

【前向きな取組】

- ・姥浦建設、タマダ及びA社の新規領域進出と3社共同で案件対応を行うことで、技術・ノウハウの共有、人材の流動化などを通して役務提供の幅を広げ、グループ共同で建設工事業のオールラウンダーとして成長することを目標としている。
- 計画終了年度(2029年度)には当該スキームでの売上高を全売上高の1.1%以上とすることを目標とする。

【計画の実施期間】

- ・2025年4月～2030年3月